

1. 学校独自の分析

今年度は質問項目を新たに2つ増やしました。一つは質問項目1です。これは、重点目標の「未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・想像する力等の生きる力を育成する。」に対応する質問としました。もう一つは質問項目10です。今年度から総合学科のみの学校に生まれ変わり、これまで以上に地域との連携強化を通して、キャリア教育の充実が必要となることからこの質問を入れました。今後、これらの項目の評価が向上するように取り組んでいきたいと思います。

また、評価の方法を変更しました。昨年度の評価（自己評価）を見ていただいたらわかるように、すべての項目がA評価となっており、課題や改善点が見えにくい状況でした。そこで、良い評価（「4 ほぼ当てはまる」と「3 やや当てはまる」）には高い点、悪い評価（「2 あまり当てはまらない」と「1 当てはまらない」）には低い点をかけることで評価を明確にしました。具体的には「4 ほぼ当てはまる」に10点、「3 やや当てはまる」に6点、「2 あまり当てはまらない」に4点、「1 当てはまらない」に0点に掛け、その項目の合計点がすべての回答が10点であった場合の合計点に占める割合が何%あったかで評価するようにしました。割合と評価は、80%以上をA評価、60%以上80%未満をB評価、40%以上60%未満をC評価、40%未満をD評価としております。評価方法を変えたことで、課題がはっきりとわかり、改善すべき項目が明確となりました。

今年度の自己評価をみますと、中間評価で14項目がB評価となっておりましたが、総合評価では6項目に減少しました。これは中間評価の結果を真摯に受け止め、教職員自らがそれらに対し意識して取り組んできた成果であると思います。しかしながら、5項目（学力向上、部活動の活性化、読書、防災、ごみ）は中間評価、総合評価ともにB評価で改善されませんでした。次年度はこの5項目と学校関係者評価でB評価の項目を優先的に取り組むとともに、常に重点評価項目を意識し、自己評価と学校関係者評価において、すべての項目がA評価となり、割合も100%に少しでも近づくように取り組んでいきたいと思います。

2. 次年度に向けての改善策

【学校経営】

- ・5系列の教育活動を通して「生きる力」の育成に努めます。
- ・令和6年度は今まで以上に発信力を強化し、地元中学生とその保護者や地域の方々に本校の良さや魅力を知っていただけるよう努力します。
- ・1年次の「産業社会と人間」、2年次の「総合的な探究の時間」とインターンシップ、3年次の「課題研究」が一貫性のある取り組みになるよう努めていきます。

【学習指導】

- ・生徒の学習意欲を高めるため「わかる授業」に努め、生徒が主体的・協働的に学びを深めるよう更なる授業改善に努めていきます。
- ・1人1台端末等を効果的に活用した指導法の充実を図ります。
- ・生徒との面談を通じた悩みや、つまずきの把握と、担当教員との連携を図ります。
- ・全学年の国語、数学、英語で習熟度別授業を行うことで、基礎的学力の定着を図るとともに進学希望者の学力保障と学業不振・学業不適応生徒の学力向上に努めます。

【生徒指導】

- ・生徒指導上の諸問題を解決するため、教職員が連携を密にし、きめ細かな指導体制づくりを行います。
- ・挨拶、身だしなみなど基本的な生活習慣を確立させ生徒の自立を促します。
- ・交通事故の防止、危険予知に関する啓発を引き続き行うとともに、自転車乗車中のヘルメット着用を奨励していきます。
- ・いじめを重大事案として捉え、早期発見・解決に努め、ガイドラインに基づき組織的な対応を行います。
- ・1人1台端末の使用のルールを明確にして指導するとともに、SNS関係のトラブルについて、情報の授業などでデジタルリテラシーに関する授業や呼びかけを行います。

【進路指導】

- ・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に努め、生徒・保護者の進路希望の実現に努めます。
- ・地域との連携をより強化し、キャリア教育・職業教育を推し進め人材育成を図ります。
- ・公務員試験対策講座、看護受験対策講座などの学習会の充実につとめます。
- ・進学希望者に対して継続的な補習を行い、指定校だけに頼らない、第1志望にあくまでこだわる生徒に対しての支援を充実させます。

【特別活動】

- ・生徒会活動全般の活性化を図り生徒の自尊感情を育みます。
- ・生徒が部活動に魅力を感じ、積極的に参加できるよう、部活動の充実に取り組みます。
- ・地域貢献活動・ボランティア活動などへの積極的な参加を促進していきます。

【学校図書館】

- ・図書館情報の提供に努め、生徒が図書とふれ合う取組を企画し図書館の利用率を高めます。
- ・生徒・教員のニーズに応じた図書の充実を図ります。
- ・図書館配置の新聞紙の積極的な活用を図ります。

【保健・安全指導】

- ・防災に対する意識をより一層高め、不測の事態が起こったときに適切な行動がとれるよう取り組みんでいきます。

【人権教育】

- ・教育相談体制を充実させ生徒個々のニーズに応じた支援に努めていきます。
- ・基本的人権を尊重し、他者を認めつつ自分自身を大切にする人権感覚を高めます。
- ・生徒理解に努め「いじめのない学校づくり」を推進していきます。

【環境教育】

- ・ゴミの分別収集、減量化を図り、生徒の環境問題に対する意識を高めます。
- ・生徒の美化委員会を活用し、生徒自らの美化活動を推進していきます。
- ・日々の清掃活動を通し、美化意識の向上に努めます。

【その他学校の取り組み】

- ・保護者との連携を密にし、情報交換を積極的行います。
- ・PTA活動の充実を図ります。
- ・授業等を通して、地域との連携を深め、更なる地域資源の活用と学校の社会貢献を目指します。